

育種価の利用

食肉センター
枝肉情報の収集
↓
枝肉成績

出荷
肥育農家

販売
子牛市場

出荷 子牛
繁殖農家
能登和牛改良組合 (和牛繁殖農家で構成)
繁殖雌牛の選抜・淘汰
計画交配

全農石川
県畜産協会 (全国和牛登録協会 石川県支部)

枝肉・市場情報などのデータは当センターにて入力・保存し、データの送付を行います。

全国和牛登録協会 (京都)
大型コンピューター
枝肉成績の処理
育種価
平均をゼロ「0」とした「+」「-」で表します
遺伝的能力の数値化

能登畜産センター
全国和牛登録協会から送付されてきた育種価データを年1~2回解析します。当センターでは育種価成績のデータベース化しています。任意の交配による産子の期待育種価を計算することが出来ます。
育種価は親から1/2づつ伝えられる子に遺伝する能力です。
実際の育種価の活用例
・当センター飼養牛の改良
・交配に係る種雄牛選定の相談に。
・自家繁殖牛の保留・更新の判断材料として。
・肥育素牛の産肉能力の予測に。

子の育種価 = 母の育種価 1/2 + 父の育種価 1/2
子の産肉成績から繁殖雌牛と種雄牛の育種価が求められます。また、親の育種価が分かれば子の育種価を推定できます。

県肉用牛協会 県能登牛銘柄化推進協議会 JA各支所

県畜産協会 県農畜産課 家畜保健衛生所 県農業開発公社 県農林事務所

育種価の意義
和牛産地としての基盤強化には牛群全体の改良が必要です。
産肉能力の向上
飼養管理技術の向上
牛本来の能力の向上
すなわち
遺伝的能力の向上
育種価は遺伝的能力を表すための唯一の指標となります。
牛群としての改良とは遺伝的能力を上げることです。